

## 事業所における自己評価結果

公表日: 2022年3月15日

事業所名 きらめき園

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	6	8	・コロナ禍中、利用者や指導員の人数が多すぎて、密になっていた気がする。 ・2クラスの室内規模を考慮し、人数調整を行って、適切な環境で行えている。	換気・消毒を徹底し、定員数を守り活動しています。トイレやお散歩時の玄関での靴の脱ぎ履きを時間差にして行うなど工夫していますが、今後も改善できることは積極的に取り組んでいきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	19	1	1	・出欠状況に応じて、ほぼ人数調整出来ている。	基本1対1の対応をしています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	9	1	・写真カードは本人の理解度に合わせてイラストやマークでも良いと思う	写真カード等を利用し、スロープも設置しています。また、状況に応じ皆で話し合い改善にも努めています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	7	1	・コロナ禍に対応し、常に清潔に清掃、消毒が成されている。	清潔を心掛け、またテーブル・椅子以外は置かず、スペース確保にも努めています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12	7	2	・目標設定と振り返りの共有が出来ていない。 ・毎日のミーティングや月毎のミーティング、その議事録等で意見交換している。	意見交換の場を増やし、より多くの職員が参加できるようにします。また、支援計画を意識した支援が行えるよう、促していきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	17	3	1	・個人面談等などを実施することで、保護者様からのご意見が反映されやすくしている。	今後も職員間で話し合い、改善と工夫に努めていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	3	2		当法人のHPにて公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	9	2		現在は行っていませんが、機会があれば検討します。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16	4	1	・ミーティング等で研修の機会を設けている。	今年度はマッサージ研修を実施しました。今後も研修の機会を設けていきます。
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	3	0	・モニタリングや個人面談で保護者様のご意向を伺い、職員からも中間評価を集めて作成している。	保護者のご意向を伺う機会を設け、職員の意見を集めた上で課題を検討し作成しています。	
⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	5	1		法人内で共有している利用者登録カードや、担当相談員が作成したサービス等利用計画書を利用しています。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	5	2	・幼児であるため、保護者様と職員のご意見を元に、適切な目標設定を行っている。	日々のプログラムの積み重ねで身に付くように、無理のない適切な目標設定を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	4	1	・支援計画の共有されてない。	個別支援計画は個々のファイルにも綴り、日々確認できるようにしています。個別支援作成会議で、より詳細な振り返りが出来るよう検討します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	6	1	・各年齢、発達状況に応じた活動内容を常勤全員で話し合いながら考案している。	クラス担任を中心に、常勤全員で話し合い、発達に応じたプログラムを立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	4	0	・課題遊びを週替わり、体操を2ヶ月毎に変えるなど、工夫している。	季節の制作やイベント、週替わりの課題遊びを通して、楽しく活動していけるように工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	16	3	2	・個人の発達状況に応じた身辺自立や、集団活動においての適正などを考慮し作成している。	個々の発達状況と集団活動での課題を考慮し、作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	5	3	・常勤間では周知出来ているが、指導員さん達にも適時伝えられると良い。	支援前に記録ファイルの確認を徹底しています。日々の議事録の確認と次週の活動予定も伝えていくようにします。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18	0	3	・支援の振り返りをしても、きりんさんに入っている指導員には、情報が共有できていない。 ・5分間ミーティングを実施し、留意点や報告事項を共有している。	支援後にミーティングを行い記録もしています。議事録はいつでも見られるようになっていますが、職員全員が記録の確認をすることで共有に努めていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	19	1	1	・各個人の青ファイル、ミーティング議事録、日誌等に記録している。	支援の詳細を記録し、いつでも確認できるようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	1	1		定期的にモニタリングを行い、支援計画に役立てています。
	関係機関や保護者と	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	4	1	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15	5	1	・懸念案件が発生した場合には、速やかに報告相談を行っている。	必要に応じて関係機関への報告を行っています。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	16	3	2		必要に応じて関係機関と連携をとり、より良い支援が行えるようにしていきます。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	17	2	2		必要な場合は医療機関と連携をとり、情報共有していきます。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	16	4	1	・保育所やこども園などに通っている利用者の支援共有をされていない。 ・保育所等訪問の機会に情報共有を行っている。	保育所等と訪問や電話でやり取りをし、情報共有と相互理解に努めています。職員間でも周知できるよう、ミーティングや議事録で伝えていきます。

の連携関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	4	2		必要に応じて就学前に、小学校の先生に発達状況や支援内容をお伝えしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	6	1	・必要のある場合には、他の同業事業所の見学、訪問を行っている。	利用者の併用先の見学をしています。また、法人内の言語聴覚士・理学療法士にも相談できる体制です。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	4	5	・コロナ禍において、現在は困難になっているが、地域交流の一環として今後考えていきたい。	交流先を増やせるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	12	5		機会がありましたら参加を検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	2	1	・送迎時の申し送りや、必要に応じて面談に応じて情報共有している。	その日の担当者が申し送りをし、必要に応じてゆっくり面談を行うなど、共通理解に努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	11	3	・zoomでもいいので保護者勉強会を実施出来るといいなと思う	法人内で療育センター主催の保護者サロンを行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	4	1	・ご契約時に契約書や重要事項の読み合わせを行っている。	ご契約時に契約書と重要事項の読み合わせを行い、丁寧な説明を心がけています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19	2	0	・個別支援計画のお渡し時に支援目標、内容を説明し、同意を得ている。	6ヶ月ごとに個別支援計画を作成し、同意を得てお控えをお渡ししています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	1	2	・個人面談を開催し、個人的にゆっくりと相談出来る機会を設けている。その他、適時にご相談に応じている。	個人面談を行い、ご相談に応じています。また、お迎え時にもお悩みを伺うことがあります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	6	3	・現在、保護者会の開催を予定しており、今後も定期的に行って、保護者間のコミュニティの形成に助力していく方針である。	保護者会を2月に行います。今後は定期的に年に数回行う予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	1	0		ご相談には迅速な対応を心がけています。また、ご相談がしやすいように、普段の関わりも大事にしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	2	1	・月に1回お便りを発行し、活動状況を公開しながら、連絡事項を伝えている。	毎月、園便りを発行し連絡事項・活動概要などをお伝えしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	19	2	0		引き続き取り扱いに注意し、個人情報保護に努めていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19	2	0		写真カードやマカトンサインを利用しています。子どもが安心して発信できるように日々のコミュニケーションも大切にしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	7	5		法人としては年2回、一般の方も参加できる物品販売やコンサートを行っています。コロナ禍の為、現在は行っていません。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	17	2	2		緊急時対応マニュアルを玄関に掲示しています。準備中の物は作成に努めます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	21	0	0		毎月、避難訓練を行い、年に2回消防署の方と一緒に通報・避難・消火訓練も行っています。洪水訓練は年1回行っています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	18	1	2		保護者に確認表をご記入いただき、事前の状況確認を行っています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18	1	2		必要な場合は、事前に医師の指示書をいただくようにしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	2	0	・ヒヤリハットの事例が発生した場合、その報告書類を職員間に公開し、周知している。	概要・原因・対策を記した報告書の内容を、職員間で周知しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	4	2	・月例ミーティングで研修を行っている。	本年度は、6月の定例ミーティングで研修を行いました。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15	5	1		個別支援計画で保護者に同意を得ています。散歩時のバギーのベルト着用も、身体拘束の記録をし保管しています。